

俊徳丸、笠松競馬へ行く



私は週に2回ほど、木曾川畔の堤防を鶯や雉の鳴き声を聞きながら90分散歩しています。のどかです。その途中で笠松競馬場の前を通ります。正面スタンドが見えます。開催日は堤防の間近を馬が走って行きます。心臓の鼓動が伝わってくる距離です。一生懸命走っているのに息切れして完走できない若い馬が時々います。コースの中に墓地や田んぼがあるのも有名です。地方競馬らしい、これまたのどかな風景です。建物も老朽化しているし。開催日であっても、スタンドにはお客さんは相変わらずまばらです。しかし、5年以上前から黒字経営だそうです。



たまたま YouTube でホリエモンが話しているのをみました。彼は以前、逮捕される前に、人気がどん底になっている関東のある地方競馬をまるごと買おうとしていたそうです。もちろん赤字経営です。ちょうど笠松競馬も、岐阜県知事が廃止にすると毎年発表していたころです。そんな時からホリエモンの頭の中には、競馬のレースをインターネットで発信し馬券を販売する構想があったのですが、当時の競馬関係者にいくら説明しても理解してもらえなかったそうで諦

めています。その後、彼は同じく人気のなかったパリーグの球団を買おうとして失敗しています。球界のドン、読売のナベツネさんに挨拶しに行かなかったことが原因だと語っていました。彼の失敗を見ていたソフトバンクや楽天は、球団購入に成功し、現在パリーグは大人気になっています。

ホリエモンの先見の目は、すごいと思います。ホリエモンの話では、現在、殆どの地方競馬が黒字経営になっているそうです。



それに増して、「競輪」が大きな収益を出し、それが存在する自治体が潤っています。全国で、10年前から「ミッドナイト競輪」を行って成功しています。夜9時から11時までレースが開催されます。私も早速ネットで見てみました。スタンドには観客は一人もいません。いない方が好都合なのです。ご近所への騒音問題も起こりませんし、警備員の費用も削減されます。晩御飯後一番リラックスした時間帯にインターネットでレースを自宅で楽しめるわけです。この事業は、お笑いの吉本興業がライブ配信をしていました。ちなみに笠松競馬は楽天がしていました。競馬場では串カツや、どて煮でビールというイメージですが、今の笠松競馬場内にはお洒落なカフェでランチ、ビールを飲むことができます。

お寺の世界でも、4月8日の「花まつり」に、京都の知恩院さんが、インターネットでお釈迦さまに「甘茶」をかけられるようにしていました。甘茶の流れ落ちる音に臨場感がありました。俊徳丸